

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月）

留学先：マレーシア・マラヤ大学

氏名：安江詠星

- ・はじめに
- ・近況報告
- ・履修登録について

こんにちは、マラヤ大学に留学中の安江です。2月になり2セメスター目ということで交換留学も後半に突入しました。今回は近況報告とともにこのセメスターでの履修登録について書いていこうと思います。今月は17日にセメスターが始まり、それまではずっと休みだったので日本に1週間ほど一時帰国したりマレーシアに戻って引っ越しをしたり古都マラッカに旅行しに行ったりタイのチェンマイや再びバンコクに行って観光しつつ国際地域学部のPBLに少しだけ合流したりと慌ただしく過ごしました。

引っ越しは以前居た学内の寮からインターナショナルハウスというところに移りました。このインターナショナルハウスは学外にある大学管轄のアパートで短期の留学生や家族連れや学生や研究者が主に住んでいる場所です。学外にありますがバスがあるのでアクセスは便利です。日本人の友達と僕を入れて4人でシェアをしています。リビングと2人ずつのベッドルームがあり、またエアコンやキッチンや冷蔵庫がついているのでかなり住環境の設備レベルが上がりました。引っ越し後のタイ旅行中には国際地域学部のPBLの海外研修に三日間だけ合流しました。自分が2年前参加した時に比べ、より内容が充実しており年ごとにアップデートされていると感じました。タイの友達や先生達と再会できて良かったです。恒例になりつつある同期との東南アジア会も開かれ、日本食を楽しみました。

マレーシアに戻ると2セメスター目の履修登録です。といっても手続き自体は前セメスターの11月頃にあり、その時にまずリストから授業を選んで履修登録を行い、その結果が2月中頃に反映されているというようなものでした。その後自分のスケジュール、時間割、テスト日程（これらはオンラインで検索できるが11月の履修登録時にはできない）や必要に応じて日本の大学との単位交換などの要素を調整しながら科目の追加と削除を行っていきます。前セメでの経験があるのでなんとなくやり方は知っていましたが、結局かなり面倒な履修登録になりました。流れとしては、追加したい授業があれば先生や時間割とテスト日程の情報集めをした後、学部の事務に直接持って行って用紙を提出し、1日待って空席があれば初めて追加を許可されます。これを各追加分の授業で行い、1回目の授業に出て雰囲気を見てさらに取捨選択するのですが、中には1、2週目が都合により開講されないに授業もあります。さらに履修の追加の用紙の提出期限が2週目の月曜日というハードスケジュールなので内容が確認できないまま履修登録を完了することになります。中止は途中からでもできるのですが追加に関しては不確定要素がそのまま終えることになります。それもこれ

も「半年以上前から授業について全ての情報が書かれたシラバスを公開する」ということをやっていたら全て解決されると思うのですがそんなものはありません。シラバス自体履修登録された科目のものしかオンラインで見ることができないのです。つまり、時間割・試験の日程は 2 月に入ってから semestre 開始直前に分かって、授業のスケジュール、詳しい学ぶ内容は登録されたものしかわからないということです。科目についての概要のようなものは一覧のリストから見ることが出来るのですが、詳しい内容まではわかりません。履修登録をする際には以上のことを頭にいれながら考えなければなりません。ローカルの学生はある程度カリキュラムが固まっているのでおそらく混乱は少ないと思うのですが留学生は学部学科関係なく横断して履修できるため。情報が少なくこのような事態になっているのだと人員不足でパンクしている ISC（国際課）に並びながら思っていました。結果的に自分が受けることにした授業は以下の通りです。

- ・ Comparative Regionalism
- ・ Lecture series of ASEAN
- ・ Urban Development in South East Asia
- ・ China-ASEAN relations

授業の内容についてはまだ休講で始まっていないのもあるため来月の報告書に詳しく書こうと思います。相変わらず初めてマレーシアに来た日から天気も気温も変わらず真夏の日々ですが今 semester も頑張ろうと思います。

(写真：チェンマイの寺院、バンコクでみんなとご飯、引っ越し先の部屋。前の寮の四倍くらいの広さがあります。)

